

# 英語 広島大学 (前期日程)

## <全体分析>

試験時間

120 分

### 解答形式

記述が主で一部客観式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

### 出題の特徴や昨年との変更点

昨年と同様に、要約問題、自由英作文が出題されている。

### その他トピックス

IVで、グラフの傾向に対する理由を挙げるように求められた。

## <大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「時代に沿った文学作品の修正」 (475 words)	各段落を同じ字数内でまとめるのがやや難しい。	標準
II	読解総合	「集中力の持続」 (358 words/822 words)	解答の該当箇所を見つけやすい。2 つの文章を照合する手間が減った。	標準
III	英作文	自由英作文「オンラインに動画を投稿することについて」	指示文に従って自分の意見を述べる。	標準
IV	英作文	自由英作文「オンライン書籍とオンライン雑誌の売り上げ」	グラフの傾向とそれに対する理由を挙げる必要がある。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

要約問題は、年度によって英文の性質、制限字数、難易度、形式などが一定していないので、過去問を多く解いておくことが必要。長文読解問題は該当箇所を見つけ、訳出し、さらに簡潔にまとめる問題を多く解いておくこと。また複数の英文を読み比べる練習も必要。自由英作文は、「図表の説明」など様々な形式で練習を積んでおくことが望ましい。